

中学歴史プリント（過去問類似）

明治時代

名前

得点

/9

問1 1880年代に入ると、政府主導だけでなく民間による産業発展も加速しました。近畿地方の大阪府に位置し、渋沢栄一らによってイギリスの技術を導入して設立された、当時最大級の規模を誇った民間工場を名称として正しいものを選んでください。

(2023年 東京都公立入試 類似)

1. 大阪紡績会社 2. 富岡製糸場 3. 八幡製鉄所 4. 長崎造船所

問2 明治政府が、欧米列強に対抗できる近代国家をつくるために掲げた、経済を発展させて国力をつけ、軍隊を強化するという基本方針を何とといいますか。 (2014年 和歌山公立入試 類似)

1. 富国強兵 2. 文明開化 3. 殖産興業 4. 大政奉還

問3 明治時代、立憲国家としての体制を整えるために公布された大日本帝国憲法について、その草案作成において中心的な役割を果たし、のちに初代内閣総理大臣となった人物を次の中から選びなさい。 (2024年 福岡県公立入試 類似)

1. 伊藤博文 2. 板垣退助 3. 大隈重信 4. 木戸孝允

問4 明治時代、北海道の開拓と同時に、ロシアなどの周辺諸国に対する北方の警備を目的として配置された、農業を兼業する兵士を何とといいますか。 (2016年 山口公立入試 類似)

1. 屯田兵 2. 防人 3. 足軽 4. 健児

問5 幕末に結ばれた不平等条約において、日本が輸入品に対して自由に税率を決めることができなかった権利を何というか、正しい名称を答えなさい。 (2017年 群馬県公立入試 類似)

1. 領事裁判権 2. 関税自主権 3. 最恵国待遇 4. 地租改正権

問6 1890年に行われた第1回衆議院議員総選挙において、有権者として認められるための資格として正しい組み合わせはどれですか。 (2018年 福岡県公立入試 類似)

1. 直接国税を15円以上納める、満25歳以上の男子 2. 直接国税を10円以上納める、満25歳以上の男子 3. 直接国税を5円以上納める、満20歳以上の男子 4. 納税額に関わらず、満25歳以上のすべての男女

問7 1894年、朝鮮半島で減税や排外主義を掲げる大規模な農民の蜂起が発生し、これをきっかけに日本と清が朝鮮への出兵を決定したことで日清戦争へと発展しました。この契機となった出来事の名称を選びなさい。 (2019年 神奈川県公立入試 類似)

1. 東学農民戦争 2. 義和団事件 3. 甲申事変 4. 壬午軍乱

問8 1903年から1905年にかけての日本の財政状況をみると、軍事費が約1513（単位：千万円）から7306へと約5倍に急増し、国民所得に占める税負担率も18パーセントから23パーセントへと上昇していました。このように多大な経済的負担を強いられた国民が、日露戦争の講和条約であるポーツマス条約の内容に対して不満を爆発させた最大の理由はどれですか。 (2026年 愛媛公立入試 類似)

1. ロシアから戦費を補填するための賠償金を得られなかったから 2. 樺太（サハリン）の南半分を譲り受けられなかったから 3. 韓国（大韓帝国）に対する指導権をロシアに認めさせられなかったから 4. 条約の締結によって関税自主権を完全に失うことになったから

問9 明治から大正時代にかけて、教育の普及を背景に日本の近代科学は大きく発展しました。この時期、医学の分野で世界最先端の研究を行い、国際的に高く評価された人物の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2024年 岩手県公立入試 類似)

1. 野口英世と北里柴三郎 2. 杉田玄白と前野良沢 3. 福沢諭吉と中江兆民 4. 本居宣長と平田篤胤

答え合わせ・解説

問1	答え 1 大阪紡績会社	1882年に渋沢栄一らが設立した大阪紡績会社は、イギリスから輸入した蒸気機関や紡績機を使用し、夜間操業を行うことで大量生産を可能にしました。これが成功したことで、日本の産業の中心は官営から民間へと移り変わり、綿糸の生産量が急増して「東洋のマンチェスター」と呼ばれるほどの発展を遂げました。
問2	答え 1 富国強兵	明治維新後、日本が欧米列強による植民地化を避け、対等な立場を築くために掲げた国家目標です。国の経済を豊かにして財政を安定させる「富国」と、近代的な軍備を整える「強兵」を一体として進めることが目指されました。
問3	答え 1 伊藤博文	伊藤博文は、岩倉使節団の一員として欧米を視察した後、再びヨーロッパへ渡り、ドイツ（プロイセン）の憲法を調査・研究しました。帰国後、井上毅らとともに憲法草案の作成にあたり、天皇に強い統治権を認める近代国家の枠組みを築きました。板垣退助は自由民権運動を推進した人物であり、立場の違いから憲法草案の作成には関わっていません。
問4	答え 1 屯田兵	明治政府は、日本の領土を確定させ、当時南下政策をとっていたロシアに対抗するために、北海道の組織的な開拓と防衛を急ぎました。そこで、生活に困窮していた士族（旧武士）などを中心に、土地を与えて農業に従事させながら、軍事訓練を行う仕組みを整えました。これが屯田兵です。
問5	答え 2 関税自主権	幕末の不平等条約には、日本側に「関税自主権」がないことと、外国人に「領事裁判権（治外法権）」を認めるという2つの大きな不利な内容が含まれていた。明治政府にとって、安価な外国製品から国内産業を保護するために、この関税自主権を回復することは外交上の悲願であった。
問6	答え 1 直接国税を15円以上納める、満25歳以上の男子	大日本帝国憲法が制定された後の1890年、最初の国政選挙が実施されました。当時の衆議院議員選挙法では、参政権は「直接国税15円以上を納める25歳以上の男子」という厳しい制限が設けられていました。この「直接国税」とは主に地租（土地にかかる税）や所得税を指しており、この条件を満たす者は当時の人口のわずか約1.1%（約45万人）にすぎませんでした。
問7	答え 1 東学農民戦争	朝鮮半島の宗教団体である「東学」の信徒を中心とした農民が、重税の廃止や外国勢力の排除を求めて起こした反乱です。朝鮮政府が清に援軍を要請したのに対し、日本も公使館保護などを名目に出兵したことが、日清戦争の直接的な原因となりました。
問8	答え 1 ロシアから戦費を補填するための賠償金を得られなかったから	日露戦争では、それまでの日清戦争とは異なり、国民は多額の増税や公債の引き受けを強いられました。国民は勝利による「賠償金」でその負担が報われることを強く期待していましたが、小村寿太郎が全権として出席したポーツマス条約では、ロシアに賠償金を支払う能力がなかったため、一銭も得ることができませんでした。このことが国民の大きな失望と怒りを買い、暴動へとつながりました。
問9	答え 1 野口英世と北里柴三郎	明治政府による学制の発布や義務教育の延長などによって教育が普及したことで、専門的な学問を修める人材が育つ土壌が整いました。医学の分野では、北里柴三郎が破傷風の血清療法を確立し、伝染病研究所を設立しました。また、野口英世は黄熱病の研究に尽力し、アメリカのロックフェラー医学研究所を拠点に世界中で活動しました。これら日本人の研究は当時の世界最高水準にあり、国際的な医学の発展に大きく寄与しました。